

糖尿病地域連携パスについて

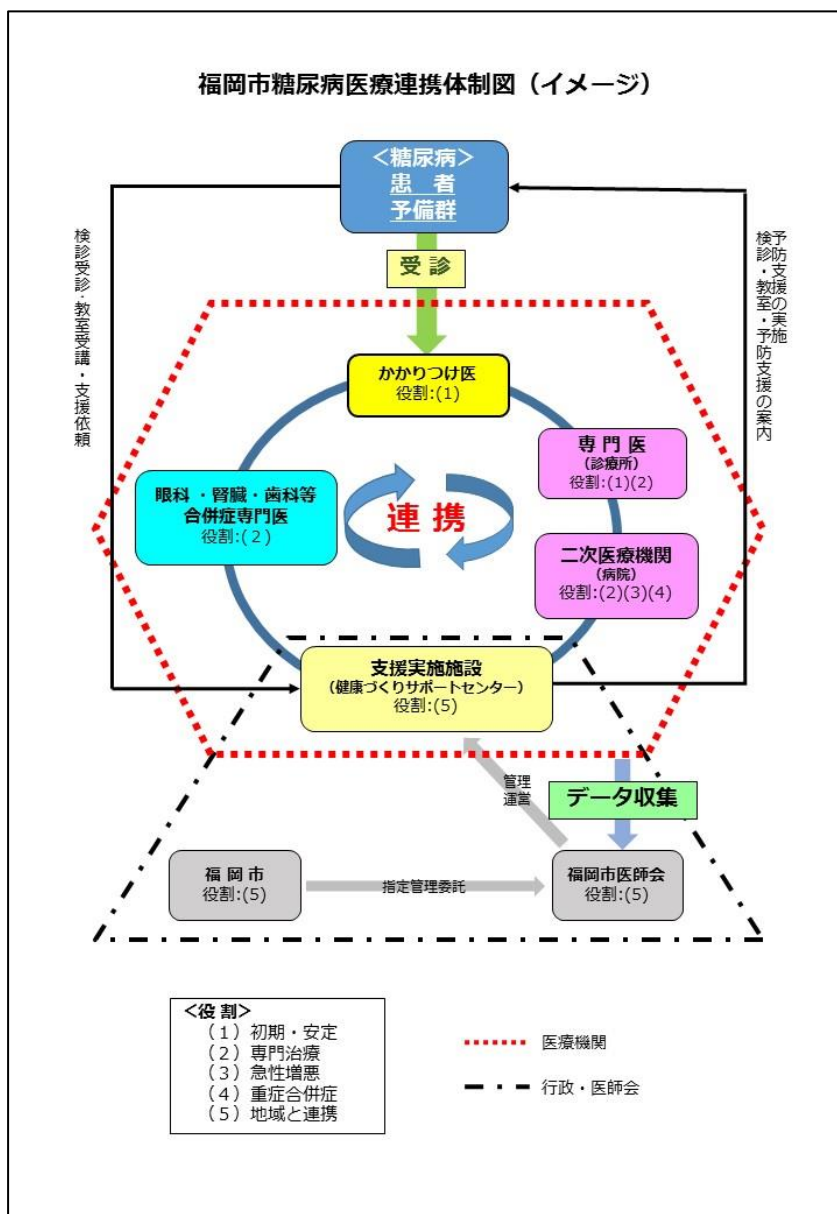
・連携の意義と目的

- ① 糖尿病の重症化や合併症を防止し、健康寿命を延伸することを目的に、糖尿病患者・予備群を対象として、かかりつけ医と専門医[※]（診療所）・二次医療機関（病院）、健康づくりサポートセンター、眼科医・腎臓専門医・歯科医等の合併症専門医、福岡市医師会、福岡市が良好な連携を図る。
- ② 本連携により、患者は、複雑化した糖尿病治療の中で、最も適した治療、アドバイスを受けることができ、かつ、かかりつけ医機能の強化を図る。
- ③ 専門医（診療所）・二次医療機関（病院）等へ紹介された患者は、確実に紹介元であるかかりつけ医へ逆紹介を行う。
- ④ 福岡市医師会と福岡市が連携して、上述の目的達成のため、収集したデータを有効活用する。

※ここでいう専門医とは、認定糖尿病専門医の資格を有する医師または認定専門医と同等程度の知識と経験を有する医師とする。

・福岡市糖尿病医療連携体制イメージ

糖尿病患者が良い療養生活を送るためには、糖尿病が早期に発見され、適切な治療・管理を継続することが重要である。



・かかりつけ医から専門医等への紹介基準

●専門医（診療所）及び二次医療機関（病院）への紹介

- ①初診の患者は一度食事・運動指導のための紹介を考慮する。
初診ではないが、食事・運動療法に起因する血糖コントロール不良の場合も同様。
- ②血糖コントロール目標値を達成できない状態がおおむね3カ月以上持続する場合などは専門医への紹介が望ましい。^{※1}
- ③インスリン療法に不慣れな場合は、その開始を専門医に委ねることも一つの方法である。^{※2}
- ④妊娠時または妊娠を希望する糖尿病患者は、専門医との連携が必要である。^{※3}
- ⑤高血糖(300mg/dL以上)で、脱水があり尿ケトン体陽性または高齢者などで脱水徴候が著しい場合、感染症などの急性期の場合などは、専門医との連携が必要である。^{※4}

●健康づくりサポートセンターへの紹介

初診の患者は一度食事・運動指導のための紹介を考慮する。
初診ではないが、食事・運動療法に起因する血糖コントロール不良の場合も同様。

●眼科医への紹介

眼科受診は自覚症状に関わらず定期受診が必要である。^{※5}初診は必須。

●腎臓専門医への紹介

腎症は、慢性腎臓病(CKD)地域連携パス^{※6}に沿った検査・治療方針決定のため、腎臓専門医の紹介を考慮する。特に、eGFR30未満、または尿蛋白+かつeGFR45未満の場合。

●歯科医への紹介

歯科受診は自覚症状に関わらず定期受診が必要である。

※1～4 日本糖尿病対策推進会議 編：糖尿病治療のエッセンス 2017年版,6頁より引用

※5 日本糖尿病対策推進会議 編：糖尿病治療のエッセンス 2017年版,19頁より引用

※6 福岡市医師会作成：慢性腎臓病(CKD)医療連携を参照

<紹介目的と紹介先一覧>

紹介目的	紹介先
糖尿病教室	健康づくりサポートセンター 専門医(診療所)
栄養指導	
運動指導	
治療方針のアドバイス	
糖尿病診断	専門医(診療所) 二次医療機関(病院)
血糖コントロール	
インスリン療法の導入	
定期受診	
妊娠	
合併症検査・治療	
フットケア	
透析予防指導	
血糖モニタリング	二次医療機関(病院)
教育入院	
合併症検査・治療 (急性増悪時・特殊検査)	

・各連携機関の役割

本連携における各連携機関の役割は以下のとおり。

かかりつけ医・専門医（診療所）・二次医療機関（病院）

1) 紹介(逆紹介)をする場合

診療情報提供書(糖尿病地域連携パス兼用様式)の該当事項を可能な限り記入し、当該患者へ渡す。

尚、複数科への紹介の場合は紹介目的「その他」の欄にその旨記載する。

※紹介を行った場合、診療情報提供料（I）250点が算定可。

2) 紹介(逆紹介)を受けた場合

①患者持参の診療情報提供書(糖尿病地域連携パス兼用様式)をコピーする。

②コピーした診療情報提供書に未記載の検査データ等があれば追記する。

③診療情報提供書の最下段<紹介先医療機関記入欄>を記入する。

④上段点線内の個人情報^{を伏せた状態}で福岡市医師会へ**FAX送信**する。

⑤糖尿病連携手帳を発行する。※

※糖尿病連携手帳は、医療連携の情報ツールとしてだけでなく日常糖尿病診療のツールとして利用することが推奨される。

眼科医・腎臓専門医・歯科医等合併症専門医

かかりつけ医、専門医（診療所）、二次医療機関（病院）から紹介があった場合

①患者持参の診療情報提供書(糖尿病地域連携パス兼用様式)をコピーする。

②コピーした診療情報提供書に未記載の検査データ等があれば追記する。

③診療情報提供書の最下段<紹介先医療機関記入欄>を記入する。

④上段点線内の個人情報^{を伏せた状態}で福岡市医師会へ**FAX送信**する。

・データ収集

目的

本連携体制が円滑に運用されているか一定期間ごとに評価・見直しを行い、その内容や運用方法を改善することにより、福岡市における糖尿病医療連携体制を向上させる。

解析内容

1.報告件数

2.診療情報提供書 及び 受診報告書(眼科医・腎臓専門医・歯科医)の項目による性別・年代
(個人の特定は不要)、紹介目的 等